

# 同窓生便り

## 平成二十二年紫西同窓会 水戸支部総会報告

支部長 大和田 實  
(二十一回卒)

### 紫西会報

平成二十二年十一月十九日(金)水戸市宮町に有るホテルレイクビュー水戸で例年通り十八時三十分より二十二年度水戸支部の総会並びに懇親会を開催致しました。学校より宮本学校長(四十五回卒)、同窓会より稲見副会長(三十五回卒)、県教育委員会より谷島英一委員(四十一回卒)の御来賓を頂きました。定刻に会員三十七名招待者三名計四十名により、卒業回数毎の席で一年ぶりの再会で、和気藹藹の内に進行をしました。今回の総会では、役員の改選が有りまして副会長に会計で有った小倉豊(二十七回卒)相澤汎(二十九回卒)がなり、会計に野村満(三十四回卒)高崎保(三十四回卒)を選びました。特に校長先生は同窓の人や皆と話し打ち解けていました。同窓副会長も皆の席

を巡って和やかに話して頂きました。谷島委員も教育関係の出席者と会話し居りました。が、殊に本日女性の方二名、参加がありました。内中庭陽子(五十回卒)さんは、元那珂湊第二高の校長を歴任し、現在は副参事として活躍しているという事で今後の出席を願いました。愉快に歓談中でありましたが、中締めとして校歌斉唱、万歳三唱をし、二十時四十分散会となりました。会としては毎年出席率が悪くなってきていますので反省会に諮りどうしたら出席者が多くなるかを検討したいと思います。と思っています。

会員の皆様にも、水戸在住は勿論、水戸氏に通勤している同窓の方にも声を掛けあって、大勢の方に出迎えていただき、楽しい時間を過ごすことが出来ずればと思っております。

昨年の夏は酷暑といわれ、今までに経験のないものでした。エアコンはフル稼働を続け省エネのためのデマンドコントロールの警報サイザーは、立て続けに鳴り対応に悪戦苦闘の日々でありました。年も改まり一月は、昨年の一二月から好天が続き連続一ヶ月となり、雨なしの乾燥した寒さとなりました。

国内外の経済情勢は依然として厳しい状況に変わりなく、就職内定率は過去に例がない程の低率で生徒・学生にとっては将来に対する大きな不安を抱えていると思つたものであ

ります。政権交代により公立高等学校の授業料等不徴収や子供手当の支給が実施されました。様々な意見があります。先々難しい財政運営が懸念されます。

さて、私は、本校四六回の卒業であります。昭和四五年三月の卒業です。当時は、全国的に大学をはじめ高校までも巻き込んだ学生紛争で世間も混沌としておりました。当初は学費値上げ反対に端を発したものであります。

もう四〇年が過ぎ去りました。平成二五年に創立九〇周年を迎えようとする本校に、昨年四月本校に赴任しました。あの四本柱を抱えた威風堂々とした本館はなく、銀杏並木も無くなり威厳のあった校舎は、現代的な造りに変わってしまいました。

(ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたる例えなし。

## 新任の先生方より メッセージ

消えゆく紫煙の中で  
— 聳えて高し我が母校 —

海老沢 昇  
(四十六回卒)



世の中にある人と栖と、またかくのごとし。鴨長明五八歳の時に表したとされています。今、同じ世代になり、この心境が理解できるような気がします。

次に来る世代の君たちには、この瞬間を大切にしたいものでもあります。知識を身につけ、体を鍛え、人としての道を歩むことを望んでおります。また、一人の親として、人に迷惑をかけず、一人前の人間として、人のためになる生き方を望むものであります。

### 下館一高に赴任して 福田さちこ



今までにいくつかの学校に赴任してまいりましたが、そこには校風や伝統があり、それぞれにその学校が果たす役割がありました。

下館一高は先輩の方々が、努力され進学校としての実績を積みあげ、地域のニーズに十分に答えてくれる学校であると実感しております。

また、私の子どもたちがお世話になった学校でもあります。熱意ある先生方にご指導を受け、切磋琢磨しあえる仲間と有意義な高校生活を送れたことに感謝しております。

今までは親の立場で一高と関わってまいりましたが、今度は教員としてお世話になることになり、身の引き締まる思いで過ごしております。

一高の進路指導部・学習指導部のスケジュール表にはほとんど空欄がありません。

先生方は生徒一人一人の得意分野・不得意分野を把握しています。

きめ細かな指導をして下さり、早期課外に始まり、休み時間の音読・暗唱、小テスト、昼休みの面談、放課後の課外・面談・追試験、課題、そして部活、とにかく下館一高の一日は先生も生徒も忙しい。分刻みで動いています。

生徒の皆さんはこんなに充実した一日を過ごしているので、

荘子の教えに  
「美の成るは、久しきに在り」  
成功するには長い時間がか

かります。悪い結果はすぐに  
出ますが、よい結果というも  
のはなかなかありません。  
ごつぞ一日一日を積み重ね、  
自分の夢に向かって邁進して  
いって下さい。

もし疲れたときには、皆さ  
んのそばにいる仲間が助けて  
くれるでしょう。教え合い、  
意欲を刺激しあえることで  
きる仲間がいることを忘れな  
いで下さい。

また皆さんのことを全面的  
に応援して下さる家族がいま  
す。昼と夜のお弁当を二つづ  
つ下す。「迎えに来て」  
の一言ですぐに迎え来て下さ  
る家族がいます。あたりまえ  
とは思わないでください。  
「ありがとう」をいってくだ  
さい。

私は家庭科の教員として、  
もしかしたら一八歳で家を離  
れ自立して行くかもしれない  
生徒に対し、少ない時間では  
ありますが、体験的な実習を  
通して、自立した生活ができ  
るよう学んでいってもらいた  
いと思います。

微力ではありますが、先生  
方と協力して下館一高の役に  
立てるよう努力して参ります  
のび、びびりようへお願ひ

いたします。

### 今あることに感謝して

青木 一 芳



昨春、下館一高に赴任して  
早いもので一年が過ぎようと  
しています。教職に就き二十  
年の節目に、伝統ある下館一  
高で勤務できることに感謝し  
ています。最近の気づきと、  
そして生徒のみなさんへの願  
いを少し述べてみようと思ひ  
ます。

『全力を尽くす』これに関  
して、最近私のやってきたこ  
とに無理があったことに気づ  
きました。全力を尽くすとは  
どういうことでしょうか。それ  
は、与えられた環境と時間の  
中で怠けず、無理せず、今自  
分ができることをコツコツや  
る。このことではないでしょ  
うか。私はこの中の「無理せ  
ず」という大事な部分をわか  
らず指導にあたっていました。  
無理して苦しいでも頑張らな

くちやいけないと思っていた  
のです。若かったから何とか  
できたでしょう。生徒にも  
無理をさせました。無理して  
頑張っていると「俺はこんな  
に頑張っているのに」と見返  
りを求めるようになります。  
これでは一流になれません。  
他の人がさぼっていても、  
遊んでいようが関係ないので  
す。無理せず、人と比べない  
ことが大事と気づきました。

生徒のみなさん、無理して  
いません。人と比べていま  
せんか。今あることに感謝し、  
自分のできることを工夫しな  
がら、着実に積み上げていき  
ましょう。必ず花開くときが  
くるから大丈夫です。焦らず  
に、楽しく笑顔でいきましょう。  
皆さんの高校三年間が、実  
り多く有意義で充実したもの  
になるよう願っています。私  
も努力を重ねていきたいと思  
っています。よろしくお願ひ  
致します。

### 下館一高に赴任して

飯島 和 男  
(六十三回卒)



四月の赴任直後は、教育実  
習以来、およそ二十年ぶりに  
母校に戻って来ることができ  
た喜びと懐かしさで一杯でし  
た。自分たちが使っていた教  
室や体育館、グラウンド、紫  
西会館すべてが当時のままで  
あり、高校生活が鮮明によみ  
がえってきました。母校に戻  
り、教壇に立つことができた  
ことを嬉しく感じました。し  
かし実際に教壇に立ち、生徒  
の真剣な眼差しに接すると、  
責任の重さを痛感し、身の引  
き締まる思いでした。

さて自分の高校生活を振り  
返してみると、失敗したこと  
や後悔した事、逆に現在の生  
活においても貴重な存在になっ  
ている事などが憶い出されま  
す。次に挙げる三点について、  
生徒の皆さんも真剣に考えて  
ください。

一つめは「努力を怠らない」  
という事です。当たり前によ  
うに何度も聞いている言葉で  
すね。皆さんは様々な夢を持っ  
ていると思います。では、そ  
の夢は誰が叶えるのでしょうか。  
保護者の方ですか、先生方で  
すか。夢を現実にするのは自  
分の努力に他ならないですね。  
しかし努力する事には、大き  
な苦痛が伴われます。その苦  
痛から決して逃げないで下さ  
い。目の前に立ちほだかる壁  
は自分でぶち破って下さい。  
嫌々やっているうちは、人に  
やらされているうちは、夢の  
実現には繋がりません。

二つめは「一生つきあえる  
友人をつくる」という事です。  
青年期のただ中にいる皆さん  
には、辛いことや思い悩む事  
もたくさんあると思います。  
不安で押しつぶされそうにな  
る事もあるでしょう。その様  
な時に、悩みを打ち明けられ  
る、お互いに支え合える友人  
がいる事が、どれほど自分の  
気持ちを支らいたものにして  
くれるか気づく時が、必ずやっ  
て来ます。若い世代を見てい  
ると、人付き合いがなんて下  
手のだろうと感じることが  
多々あります。是非、親友を

ついでに下さい。

三つめは「感謝の気持ちを  
忘れない」という事です。私  
たちは、多くの人に支えられ  
て毎日の生活を送っています。  
皆さんはどうでしょう。保護  
者の方、先生方を始めとして、  
周りのたくさんの人に支えら  
れていますね。しかしその事  
を忘れ、傍若無人な振る舞い  
になっていませんか。皆さん  
は恵まれているという事を思  
い出して下さい。

最後になりましたが、皆さ  
んの高校生活が充実したもの  
になるように、夢が実現する  
ように、私自身も努力を重ね  
ていきたいと思ひます。よろ  
しくお願ひします。

### 下館一高に赴任して

杉山 周



下館一高に赴任してもつづ  
ぐ一年が経とうとしています。  
日々学ぶことがたくさんあ  
り、一つ一つなんとかなし  
ていったらいつの間にかこれ



紫西会報

最近、このようなことを自分が高校生だった時の先生が言っていたのをよく思い出します。なので、力になれることがあれば存分に協力したいし力になりたいので、至らな

ほど時間が過ぎてしまったというのが正直な感想です。本当にあっという間に過ぎて自分でも驚いています。

自分が高校生の時は好きな教科はよくやるが、嫌いな教科はほとんどやらないうまくもったくもったくしよつもない高校生でした。好きな教科だけやっていたら大学合格できるほど世の中は甘くないので、案の定浪人することになりました。結局このころは受験というものに向かっていたので、興味のない教科は半ば割り切って勉強していたのだと思います。しかし大学を卒業し、社会人になって年を重ねていくと、いかに勉強というものが自分を磨き、生活を豊かにし、人生というものを充実させてくれるものかということを身をもって体感します。高校生のころ嫌いだっ

分野にも非常に興味が湧いて、時間さえ許せば本を読んだりしています。

い点もあるとは思いますが、よろしく願っています。

訃報

田宮謙次郎氏が永眠されました。本校の前身である下館商業学校から阪神に入団。首位打者を取るなど活躍し、東映(現日本ハム)で監督を務められました。

慎んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。

平成二十二年職員異動

- 一、退職者
  - 副主査 石上 信男 (下妻二高)
  - 教諭(社会) 佐々木 賢
  - 教諭(家庭) 海老澤裕子
- 二、転出者
  - 教頭 松本 正人 (八千代高校)
  - 教諭(数学) 島田 道昭 (岩井高校)
  - 教諭(体育) 海老原 孝 (古河三高)
  - 非常勤講師(国語) 為我井節 (結城一高)

- 三、転入者
  - 副参事兼事務室長 海老澤 昇 (竹園高校)
  - 教諭(社会) 飯島 和男 (岩瀬高校)
  - 教諭(家庭) 福田さちこ (鬼怒商)
  - 教諭(体育) 青木 一芳 (土浦湖北高)
  - 常勤講師(数学) 杉山 周

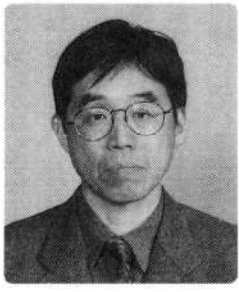
平成二十二年紫西同窓会幹事

- 全日制
  - 一組 岩淵吉訓 菊池章吾
  - 二組 新井理恵 須藤淳士
  - 三組 市村慎之介 大和田健太
  - 四組 齊藤頌子
  - 五組 稲葉堯通 谷島吉彦
  - 六組 深谷伸吾 吉田英輝
  - 七組 古島征洋 高橋和希
  - 野村佑樹
  - 相澤優多 小島健太
- 定時制
  - 野口武男 橋本 歩



下館一高の進路指導の現状

進路指導部長 鯨 雅之 (五十二回卒)



【平成二十二年入試概況】  
志願者数が二年連続増加。要因は、受験生の数の増加と新型インフルエンザのリスク

よりダウンしました。二年連続のダウンでした。特に、数学I・Aが一五・〇点、化学Iが一五・八点、物理Iが九・五下がり、国語で七・八点ダウンしました。国公立大入試個別二次試験の出願は三%増加しました。(国立大学二%、公立大学六%、公立大学の志願者数の増加が大きく、増加率は国立大の三倍でした。増加原因としては次のようなことが挙げられます。

- ①十八歳人口の増加等による受験整数の増加(前年度より〇・九万人増であった。)
- ②深刻な不況下での国公立大志向の一層の強まり(センター試験の平均点の大幅ダウンにもかかわらず、不況から国公立大志願を貫徹した層が多い二〇〇九年入試では平均点ダウンで個別試験出願断念者が多く出た。)
- ③就職難で資格系統学部の人気の高まり(就職内定率の低下から、資格の取得できる教員養成、家政・生活科学、体育、医療・看護系統の志願者が増加した。)
- ④地元出身者への学費等の優遇措置のある公立大が人気(不況から学費の割安な公立大